

産業振興



登壇者名	渡邊雄介
役職	共同代表
連絡先	



station株式会社

設立（西暦）	2019年1月11日
本社所在地	東京都港区麻布十番 2-20-7
会社HP	https://www.station.space/
事業プラン名	コミュニティデザインツール「station」の開発・提供
事業プラン概要	stationのビジョン：「コミュニティ創りをアップデートし、誰もが自分のライフスタイルに合ったコミュニティを自由を選べる仕組みをデザインする」 200名を超えるコミュニティオーナーやマネージャーの方々にヒアリングした結果、コミュニティ作りにおける大きな課題として、「コミュニティの設計の仕方がわからない」「コミュニティの実態を具体的に説明できない」という2つの点があることがわかりました。stationは、上記の課題を解決するために開発・提供しているSaaS型のサービスで、これまで見え辛かったコミュニティの資産や価値を可視化し、集客、活性化、メンバーLTVの向上など、コミュニティ運営における目的達成を助けるコミュニティデザインツールです。
福島/本プログラムにかける想い	人口減などの影響で、血縁や地域コミュニティ、行政や企業などが果たしていたセーフティネットとしての役割が希薄化しています。これは、コロナウイルスの影響によるオフライン接点の減少、想定される長期的な不況により、ますます顕在化するのではないのでしょうか。"コミュニティ"というワードが重要視されていますが、その背景は、希薄化していく既存コミュニティを補完する、オルタナティブなコミュニティの形が求められているからと考えています。私達が得意とする"デザイン"で、コミュニティの価値の可視化、コミュニティの価値そのものの引き上げを行い、自分のライフスタイルに合ったコミュニティを自由を選べる仕組みを実装することで、福島という地に貢献したいです。
イベントにご参加いただく方への一言	企業、地域、不動産、オープンイノベーション、スポーツやアートのファンコミュニティなど、様々な分野で"コミュニティ"の重要性が高まっています。そしてそれは、コロナにより顕著になりました。"コミュニティづくり"を大切にしてきた法人/個人は外出自粛や人の接触減少などで受ける打撃を、最小限に抑えることができたでしょう。"コミュニティづくり"は今後、あらゆる分野で必要不可欠になっていくと考えています。しかし、その知見やノウハウが表に出ることはあまりありませんでした。今回の実証実験では、南相馬市でのコミュニティ形成・運用に合わせてサービス機能の拡張・改良を行いながら、コミュニティデザインレッジのインプットを同時並行的に実践し、同地域におけるコミュニティの資産価値をストックする土台づくりを軸に活動してきました。イベントでは、その活動内容について共有させて頂き、地域活性や企業誘致、雇用の創出に繋がる経済圏の拡張へのイメージをより具体的に体感して頂けるようなアウトプットを行いたいと考えております。